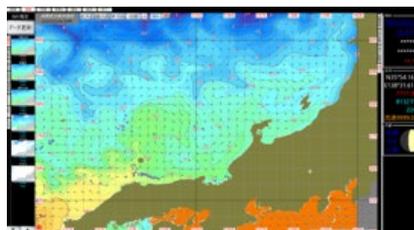


海況情報提供サービス『エビスくん』

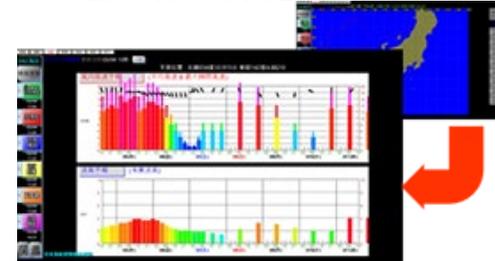
- ・海面水温や風向風速・波高など操業に影響を及ぼすさまざまな情報を一元的に閲覧可能
- ・直近の海況データだけでなく予測海況情報や予測漁場図などを提供
- ・データ通信速度に制約がある沖合でも海況情報を洋上の漁船で閲覧可能なシステム

企業・団体名	一般社団法人漁業情報サービスセンター（JAFIC）
サービス概要	<p>漁業形態は、技術の進歩に合わせて「経験と知恵に頼る漁業」から『IT技術を取り込んだ漁業（IT漁業）』へ移り変わってきました。現在、多くの漁業者は、これまでの経験や知識とともに様々な情報を活用して漁業を行っています。一方で、沖合では、通信の問題等から陸上のように十分に情報を得ることが困難です。</p> <p>海象・気象情報サービス『エビスくん』では、漁業で有用となる水温や潮流、気象情報などをインターネットを通じ、沖合でも活用可能なように加工して提供しています。また、得られた情報は、エビスくん内で利用者各人が利用しやすいように表示等を変更することができます。</p> <p>海象情報は、各種衛星が観測したデータと協力漁船からの実測値をJAFIC独自で解析して作成しています。</p>
主なユーザー	・漁業者
活用される衛星	<ul style="list-style-type: none"> ・「しきさい」GCOM-C（センサ名：SGLI） ・「しずく」GCOM-W（センサ名：AMSR2） ・「ひまわり」Himawari（センサ名：AHI）
URL	https://www.jafic.or.jp/service/ebisukun/

日報海面水温図

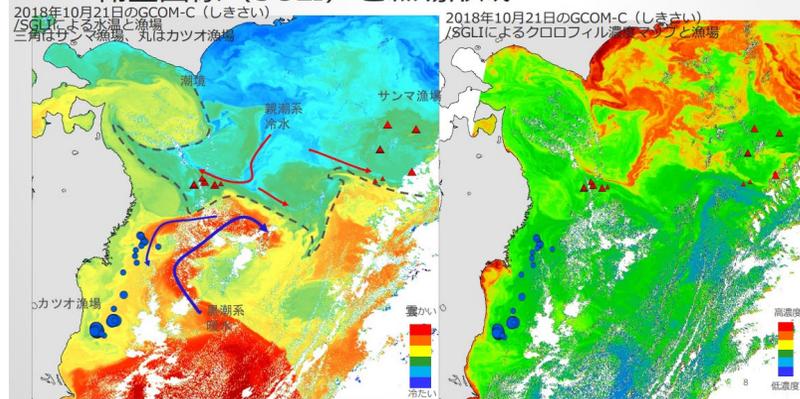


ピンポイント風向風速・波高予測



出所) 一般財団法人漁業情報サービスセンターHP「エビスくんについて」より

JAFICにおけるスマート水産業の取組みと衛星データの活用
衛星画像（SGLI）と漁場形成



出所) シンポジウム「スマート水産業と衛星利用」斎藤克弥氏講演資料より,2022